

竜丘村

第五号

發行人 木下 右治
編輯人 情 報 部
印刷所 株式 龍共社
發行所 竜丘村公民館

農地委員顔ぶれ決まる

各委員の抱負を聞く

今後竜丘村の農業形態を左右する重大なる任務を擔ふ農地委員の選挙は、去る八月十八日施行された。

一號層は定員二名のところ三名、二號層は最初四名立候補したが遂二名は辞退し無投票に終り、三號層は定員六名のところ八名が名乗りを上げ、それぞれ戦ひを進め、中でも三號層の小林君が若冠二十六才で最高点を以つて當選した事は注目される。尙新農地委員會長には下平貞雄氏、副會長には林省三氏が就任した。

一號層	當選	高島 兼藏	九九票
	次点	金子 洋一	八七票
		下平 清	五七票
二號層	當選	林 省三	
		前島 秀雄	
三號層	當選	小林 三郎	二〇五票
		下平 貞雄	一八一票
		中平恒三郎	一六八票
		原 喜代司	一五一票
		久保田吉郎	一三二票
		伊原 春男	一三〇票
		鹽澤 喜一	一〇五票
		鹽澤 正美	一〇〇票
投票率は			
一號層	男 八九%	女 七九%	平均 八三%
二號層	男 九一%	女 八五%	平均 八八%

第二次農地改革二年八月月に全國二〇〇万町歩の農地、之に伴ふ宅地、山林、牧野が耕作農民の手に解放され、これを基盤させる農業協同組合の發足ができ、形は一應、農奴から解放され、整つた譯であるが、農家の生活は、農民の文化は、如何に向上了たであらうか。刻々農民の胸に迫り来る現實の經濟恐慌、大戰後におそい來る云はれた

農地委員會運営について

會長 下平貞雄

ものがさうく來たのだ。刻五〇〇、農家六三七戸(一戸一刻さ其の渦巻に引込まれて平均五反七畝)特殊産業なしゆくのだ。さん底まで落ちたと云う竜丘村の貧弱な姿を充ちぬ前に、各自が、そしてお互分省み、そこに立却した農業が奮起しなくてはならぬ、その改革が委員に課せられたる任には荊の道がある。行政に務めである信じ、現行法の農産業に、經濟に、そして總て地改革の徹底や、農地の移動に村の推進組織の確立が必要潰廢の許可認定、耕作權の確立である。各種團體は緊密な連立と小作証書の文書化徹底實業に統合の要があり、其の運換地處分、集團化交換分合計營にも村全体會議等により強換地處分、集團化交換分合計力な改善と發展を期すべきである。其のオールを持つ者は青年であるを信じ其の奮起を特に切望する。

社會は日夜新たに動いてゆを圖り經營の合理化、經濟の更生等を勘案し、眞に竜丘村村皆様の協力と理解と熱意に及自作法の一部が改正され、農民が労働成果を享受し、のよつて村を興し村を明るく、國の土地政策によつて農地委員會も第二回總選挙に依り、農地改革より農業改革へ進出されたわけであり、法改正の條項の要点や、委員會の法による運営の大綱は村報前号に掲載致したから省略す、先づそれによつて村の委員會運営については、〇、七五平方里で、東西が二五丁、南北が二七丁の狹隘な土地で、水田一三四町、畑二二〇町、而も七〇級以下が三分の一と云ふ瘦畑の耕地を持つ人口五

農地改革から農業改革へ

小林 三郎

若輩の私が村民皆様の御行ひ、交換分合と附隨して耕厚情に依り今回農地委員の椅地整理の問題を重点に考へて子を賜りまして第二次農地改行かなければならぬと思ひ革の途上、書記として、今又ます。世界市場と日本農業の形勢の土地問題の一端にたづさは經濟恐慌下の農村の進路等、り得る事を無上の光榮と存じ考へて見れば百姓の前途は實ます以上に、今更にして責任に多端であり、而も金づまりの重大さを痛感して居ります。現實は既に我々の心膽を寒農業の労働と、生産の爲にからしめて居ります。尙日頃の私の念願は、村内既存の各種委員會、團體の連絡協調は公民館を以つてなし得られるが、更に尙一步を進めて、今後の農村のあり方について相互に問題を提案し合ふ會合を作り、研究と討議と啓蒙を行ひつ、村内の縦横、左右の連絡を一層密にし、政治、經濟、教育、文化等關係の各種團體の運動の上と同じ目標で村内歩調を整へて、明るい住みよい村作りをつくし頂きたいと思つて居ります

郡青排球大會に

我が竜丘チーム優勝す

竜丘連合青年會

(リーグ戦)

一回戦 竜丘2—0市田

南信時事新聞社主催第二回郡青排球大會は、優勝旗の争奪を競つて相憎くの雨天の多き飯田長

於て、去る十一日各プロツク代表チームの精銳が参加して華々しく行はれ、吾が竜丘連青女子部は竜峽代表として出場し、善戦敢闘、其の期待にそむかず、破竹の勢にて勝進み、中央部代表県チームとの優勝戦は夕暮迫るの中白熱戦を展開した末、遂に榮冠は吾がチームの頭上に輝いたその輝く戦績を省みる。

先づ竜峽予選に於て優勝後、昨年郡青の覇者松尾チーム及天竜社本社チームへ遠征、練習試合をなし之を軽く一蹴し、自信を愈々強めて郡青大會に臨んだ。

二回戦 竜丘2—0河野
三回戦 竜丘2—1山本

社会部新設

今日迄公民館發足以來公民館に於ては教育、体育方面にのみ主力を注いで來た感有りに至り、空にういた文化としか思はれる状態と云つても過言ではなからう。生活を離れた文化は決して有り得ない。公民館は村民の爲に實際の生活に即する教育、學術及文化に關する各種の事業を行つて村民の爲に教養の向上、健康の増進、情操の純化を圖り生活文化の振興、社會福祉の増進に寄與せなければならぬ。そしてそれは新しい郷土を生む原動力である。公民館を健全にそだてることこそ社會を住みよくすることであり、この任務こそ私達村民個々の双肩にある。

村民の聲



草刈り

大家畜の居る家では飼料とし又肥料とすべく毎日草を刈らなければならぬ。百姓にとつて草刈りが如何に大切な仕事であり、草そのものが如何に必要であるかは誰でも知りすぎる程知つて居る筈である。ところが自分の家の草は非常に大切だがよその草をかる人が人が随分多いのに呆れる。人の物は自分の物といふ考へたのか、よその草をかる人があまりにも多い。

私はよその人が、うちの土手でせつせ草をかつて居るの丁度顔を見合はせて嫌な思ひをした事がある。しかし、かつて居る方は案外平氣なものだ。そんな人はよその草か

りくらい朝飯前で常習犯なのである。毎年よその人からをかり、いもを堀る」のも同

四回戦 竜丘2—0富草
優勝戦 竜丘2—1鼎
附記 縣大會の南信地區予選に郡代表として近く出場す

るこゝになつておます故、村の名譽のため村民皆さんの御聲援をお願いします。

と「泥棒」は「泥棒」草かりは一流の泥棒である。しかもこうした人々の中には村會議員あり、區會議員あり模範青年さうたはれた我々の先輩等のお歴々がゐるこいふ専らのもんだ。それが嘘でないとしたら實に残念である。子孫にこれを傳へて行つたら泥棒部落、泥棒村になるかも知れない。

社會教育も家庭教育も看板ではないのだ、親の皆さんは子供に「人の物は自分の物」所謂泥棒根性を遺傳させないで下さい。又先輩諸兄後輩に對してこんな見本は示さないで下さい。(一青年)

學校用水の完全設備を

もと電氣組合事務所の建物を村で購入、圖書館にしやうと計画進行中は衆知のこと。これに對する賛否兩論喧々も亦衆知のところ。

たまく、學校用水不備改善論が擡頭、圖書館よりこの方が先決との聲がしきり。

如何によい圖書館で書籍を列べてゐても、要は活用程度が第一、地理的條件の悪い農村の立場から、村民により接近させる貸出方を考へて利用のパーセントを上げれば、藏書數に於て、實に於て郡下有數の圖書館である現状を十二分に發揮できる。あながち

立派な建物は急を要しない。本村學校の用水は、まことに貧弱で、水が一番入用の夏はチヨロく、然も水源は田の水も流入する。淨化されるとしても不衛生極まる。今夏七ヶ村野球大會の時など生徒は水筒持參、尙不足で、二、三丁離れた所の清水を飲みに行つたさうである。

★チヨロく落る水をすくい、生温い水をくんでゐる何の文化ぞ、第一兒童の健康問題にかゝはる。本村は道路も悪い道を改善して産業發展の基を作る必要尊い金の有効需要の道はまことに多い。

★學校用水の完全化へ。この際館用建物購入費を「廻れ右」してはどうか。

村民各位の一考を煩す。(T)

●編輯後記●
○本號は、農地委員選舉について主力を注ぎ、委員全部にその抱負或ひは具體的の方策について熱意ある原稿を依頼したのですが集まつたのは之だけです。竜丘村の農業振興についての將來を考へる時、農地問題は重要であると思ひます。村民の興望を擔つて今後の農地問題を推進する委員たる以上進んで其の意見を發表して頂きたいと思ひます。尙伊原春男氏からは、委員會長の指圖に従ひ専心公僕として努力したい」とのお言葉がありましたからここに載せて置きます。

○第六號は、今後吾が村の農業經營を如何にすべきかをテーマにして編輯したいと思ひます故、各機關及一般の投稿を切望します。

○紙面の都合上二、三の原稿を次號へ廻しました故御諒承下さい